

平成 24 年 1 月 16 日

報道関係者各位

北越紀州製紙株式会社
三菱商事株式会社

北越紀州製紙(株)新潟工場向け大型天然ガス発電事業開始について

北越紀州製紙株式会社（本店：新潟県長岡市西藏王三丁目 5 番 1 号、代表取締役社長：岸本哲夫、以下「北越紀州製紙」という。）と三菱商事株式会社（本店：東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号、代表取締役社長：小林健、以下「三菱商事」という。）の合弁会社である MC 北越エネルギーサービス株式会社（本店：新潟県新潟市東区榎町 47 番地、代表取締役社長：根本宏児、以下「MC 北越」という。）は、北越紀州製紙新潟工場敷地内に、天然ガス焚きコージェネレーション設備を新設することを決定致しましたので、お知らせ致します。

MC 北越は、約 80 億円を投資して、平成 26 年 1 月までに 40MW 級発電設備（ガスタービン発電設備 1 基、高温高圧排熱回収ボイラー設備 1 缶）を新潟工場敷地内に新設し、15 年間のオンサイト発電事業(注)として、北越紀州製紙の新潟工場に必要な電力と蒸気の供給（電熱供給）を行います。

北越紀州製紙は、これまで化石燃料の使用を削減するために、パルプの製造工程で生じるバイオマス燃料「黒液」や、木質バイオマス燃料の活用を推進すると共に、クリーンエネルギーである天然ガスの利用促進や省エネルギーを積極的に推進してまいりました。このたび、大型で高効率の天然ガス焚きコージェネレーション設備の新設により重油使用量の削減を図り、業界トップレベルである製品トン当たりの CO₂排出量を更に削減すると共に、環境重視の経営をより強力に推進致します。

三菱商事は、お客様のご要望に合わせたエネルギー（電熱）調達のアウトソーシングを目的とするオンサイト発電事業に取り組んでおり、今回の MC 北越が 7 件目となります。これまで蓄積したノウハウを活用し、MC 北越の効率的な運営をサポートすると共に、今後も更なる事業拡大を目指します。

尚、本プロジェクトは、経済産業省の指定するエネルギー使用合理化事業者支援事業に認定されており、国の環境施策に対する効果も期待されています。

注：一つの顧客のサイト内に、発電設備を設置し、運営管理・保守等まで一括して行い、その顧客に電気(及び蒸気)を供給する事業。

以 上

【本件に関する問合せ先】

北越紀州製紙株式会社 広報担当 柳澤、外川

TEL：03-3245-4500

三菱商事株式会社 広報部 渥美

TEL：03-3210-8880